

2020年度 第2四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料、PCR診断キット用材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、インクジェットプリンター用染料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

第2四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2019年度	2020年度	前年同期比
売 上 高	17,549	19,420	+ 1,870
営 業 利 益	811	2,792	+ 1,980
経 常 利 益	792	2,900	+ 2,108
親会社株主に帰属する 当期純利益	562	1,252	+ 690

為替レート

\$=108.68円
W=0.0919円

\$=106.33円
W=0.0888円

\$=ドル
W=韓国ウォン

- ・ **売上高**は、機能性樹脂、基礎化学品、物流関連が減少したものの、機能性色素、アグロサイエンスが増加し、**1,870百万円の増収**
- ・ **営業利益**は、販管費が増加したものの、売上高の増加等により、**1,980百万円の増益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の増加に加え、為替差損が減少したこと等により、**2,108百万円の増益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、主として経常利益の増加により、**690百万円の増益**

(単位:億円)

科目	2020年 3月末	2020年 9月末	増 減
(流動資産)	255	259	+4
現預金	68	81	+12
売上債権	112	93	▲18
棚卸資産	70	78	+7
その他	3	6	+2
(固定資産)	293	307	+14
有形・無形 固定資産	222	225	+2
投資有価証券	59	70	+10
その他	11	11	+0
合計	549	567	+18

科目	2020年 3月末	2020年 9月末	増 減
(負債)	178	168	▲10
仕入債務	41	36	▲5
有利子負債	71	65	▲5
その他	65	65	+0
(純資産)	370	399	+28
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	87	+0
利益剰余金	113	124	+10
その他	57	75	+18
合計	549	567	+18

財務指標

・自己資本比率	61.8%	⇒	63.2%
・D/Eレシオ	0.21倍	⇒	0.18倍

有利子負債	71億円	⇒	65億円
現預金	68億円	⇒	81億円

第2四半期累計

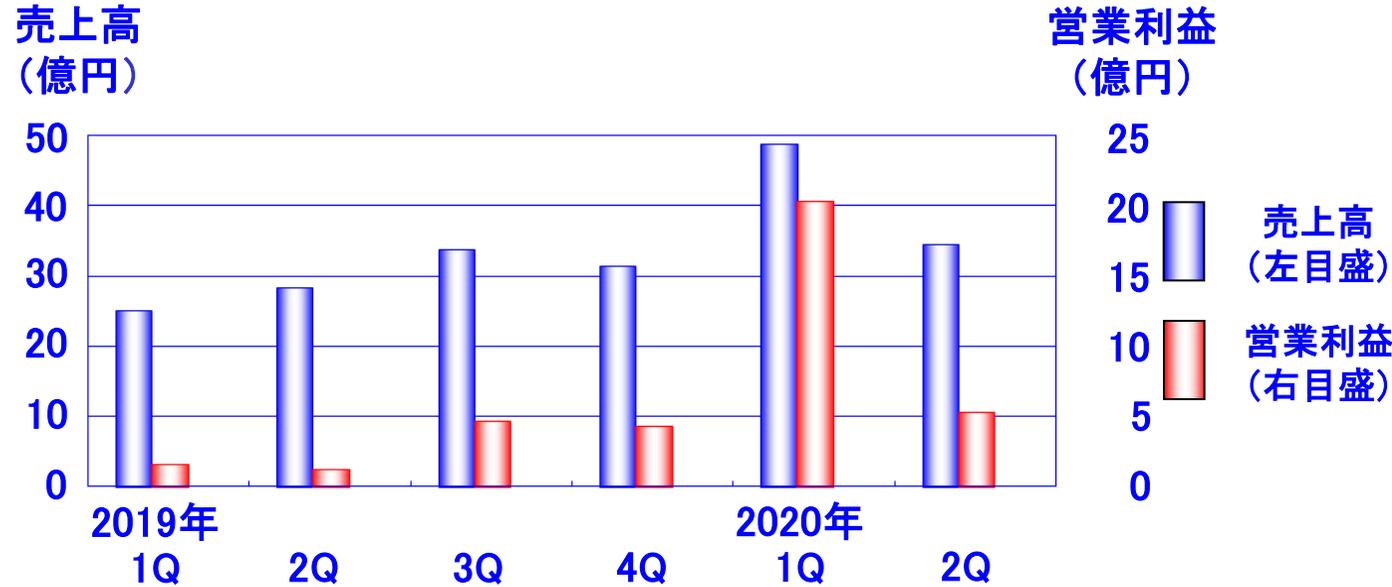
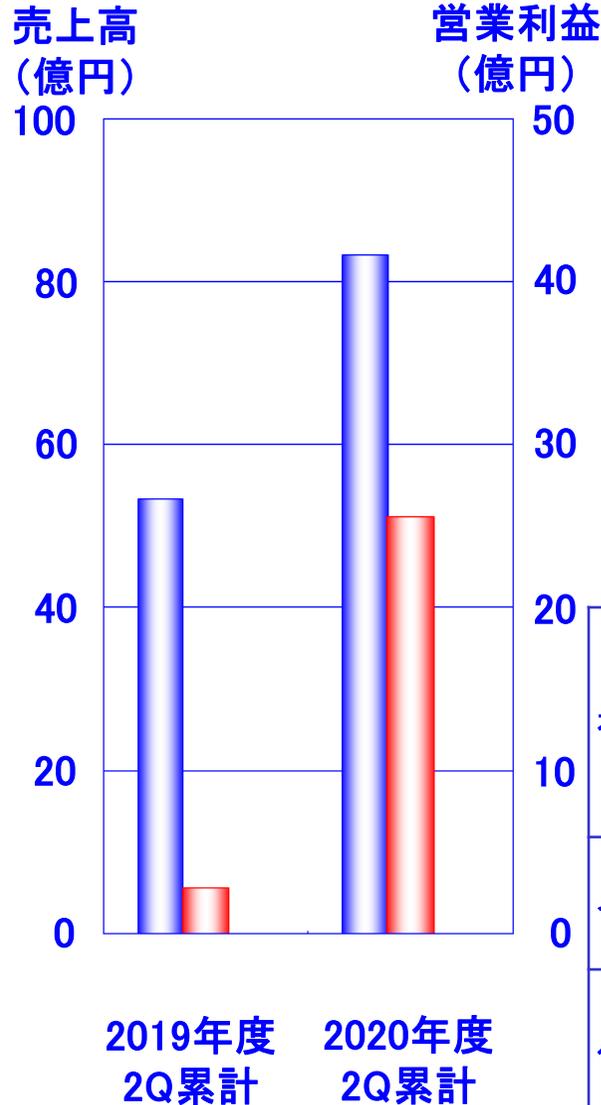
単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

セグメント	2019年度	2020年度	前年同期比
機 能 性 色 素	5,337	8,337	+ 2,999
機 能 性 樹 脂	5,774	4,737	▲ 1,036
基 礎 化 学 品	3,590	3,352	▲ 237
アグロサイエンス	1,797	2,049	+ 252
物 流 関 連	973	860	▲ 112
そ の 他	76	82	+ 6
合 計	17,549	19,420	+ 1,870

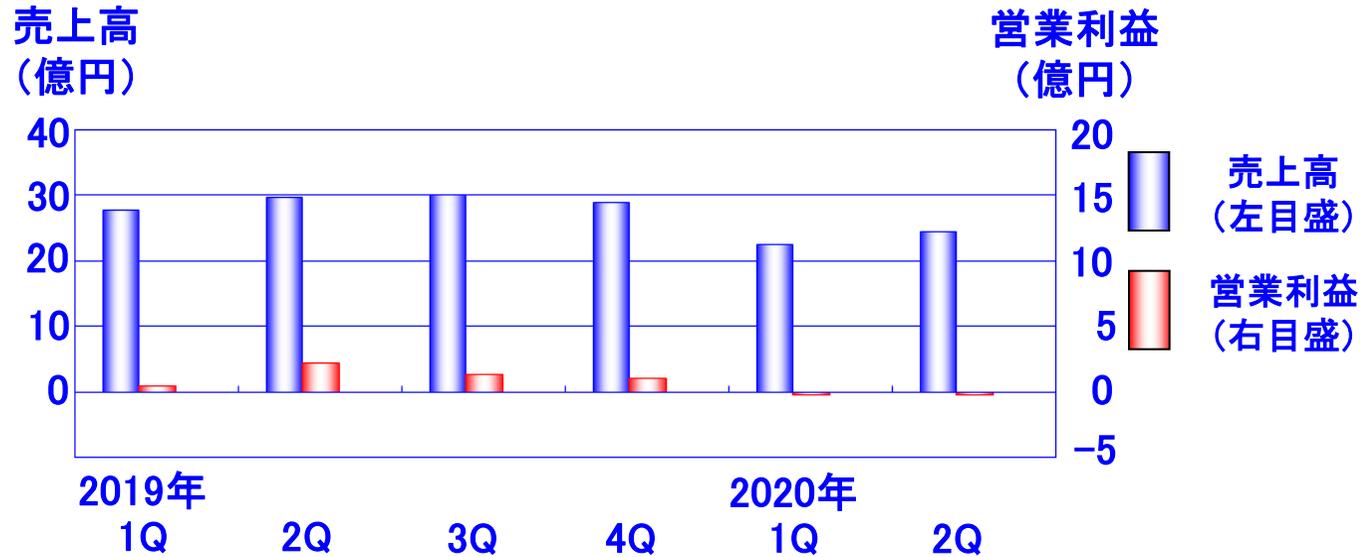
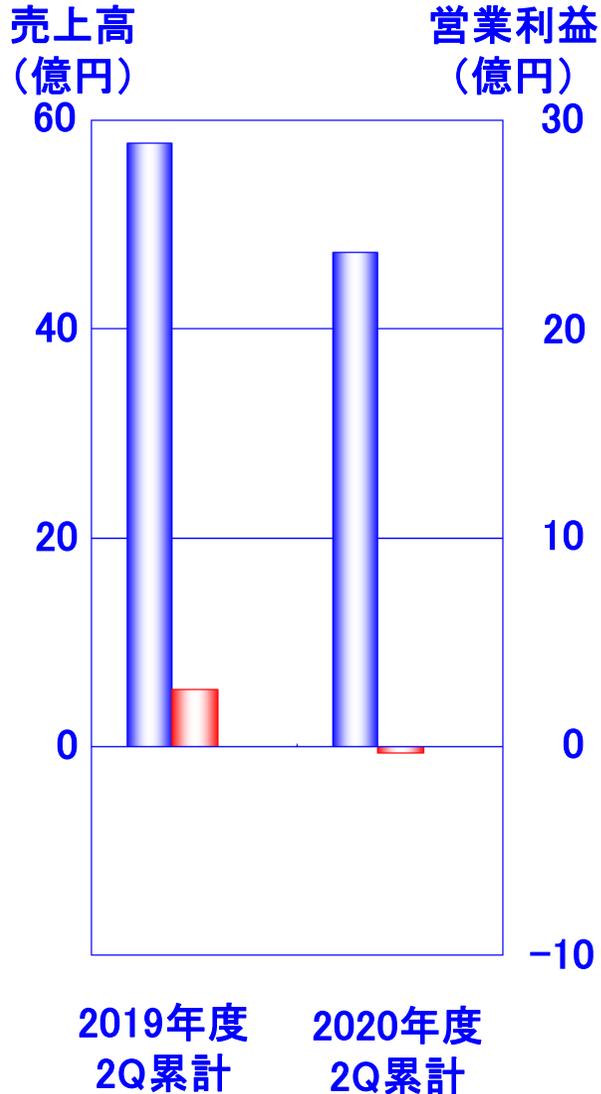
第2四半期累計

 単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

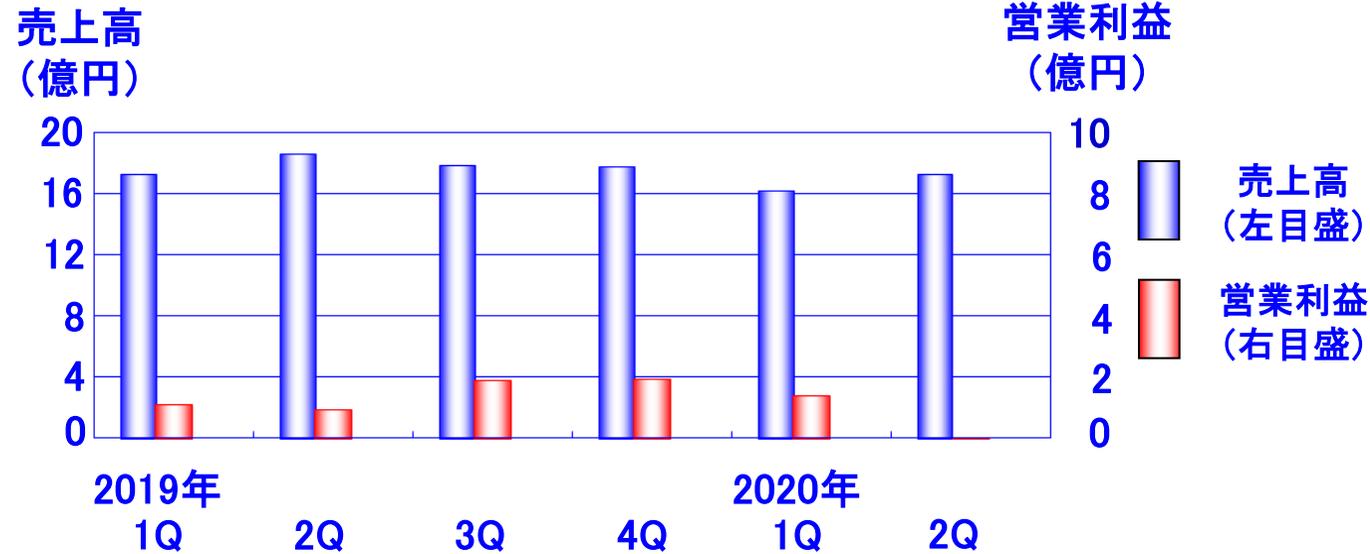
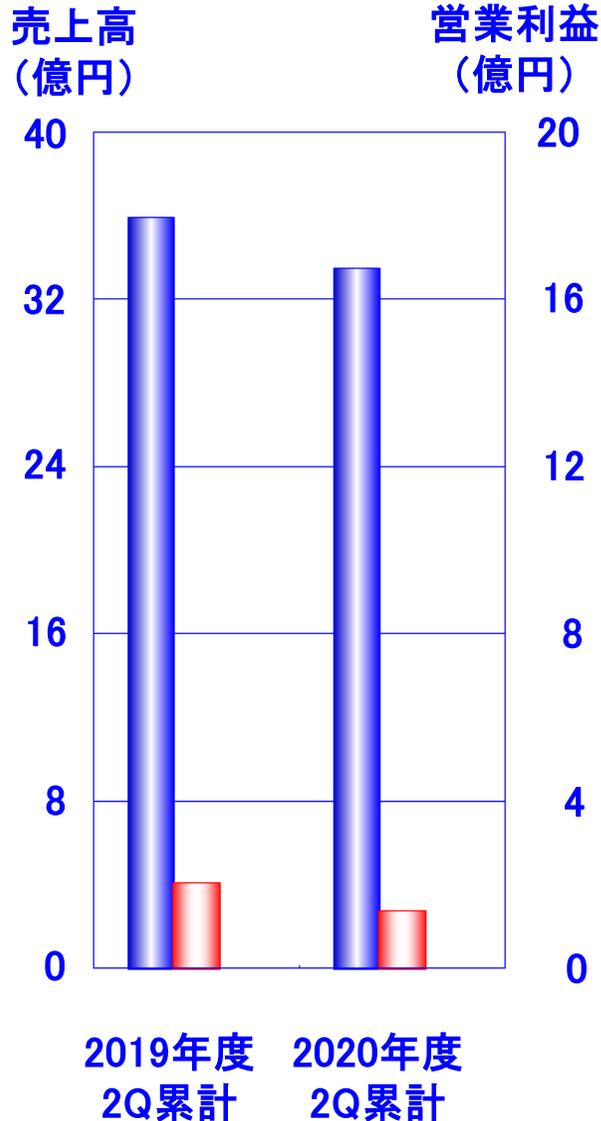
セグメント	2019年度	2020年度	前年同期比
機 能 性 色 素	279	2,559	+ 2,279
機 能 性 樹 脂	276	▲ 29	▲ 305
基 礎 化 学 品	206	139	▲ 66
アグロサイエンス	▲ 134	▲ 48	+ 85
物 流 関 連	210	155	▲ 54
そ の 他	▲ 28	14	+ 42
合 計	811	2,792	+ 1,980



有機EL材料	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン向けディスプレイ分野において、液晶から有機ELへの切り替えが進んでおり、需要が増加したことに加え、当社の子会社において、有機EL材料の用途展開として、PCR診断キット用材料が、複数の診断キットメーカーに採用され、増収 	
イメージング材料	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンター向け材料の需要低迷に加え、新型コロナウイルスの影響により、在宅勤務への移行が加速、印刷需要が減少し、減収 	
色素材料	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミ着色用染料で用途展開の遅れや、スマートフォン向け販売の伸び悩み等により減少したことに加え、新型コロナウイルスの影響により、繊維向け染料の需要が減少し、減収 	



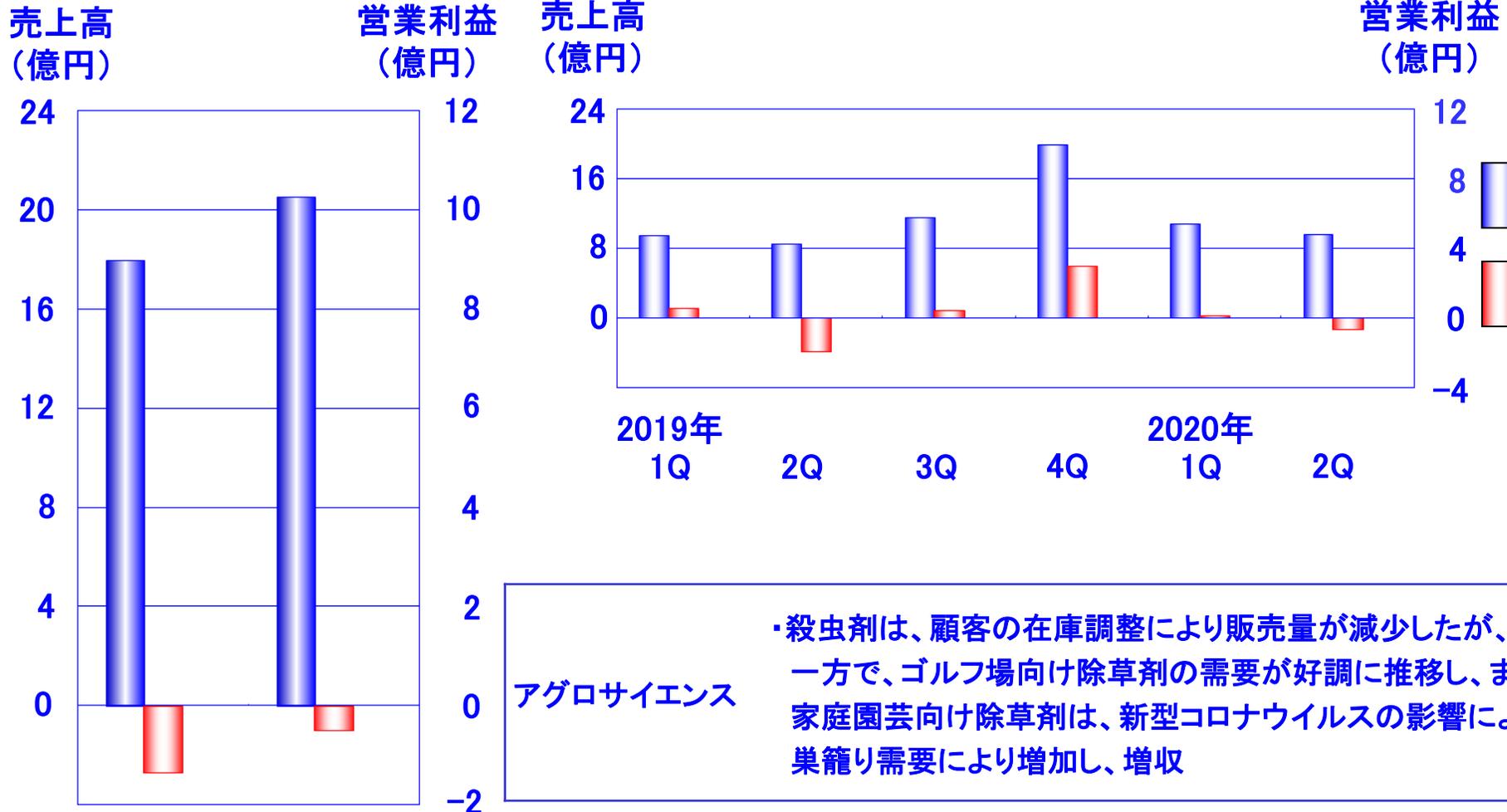
樹脂材料	・ウレタン原料およびタイヤ用接着剤が、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの影響による繊維、自動車向けの需要減少により、減収	↓
建築材料	・新型コロナウイルスの影響を受け、工事の延期や中止等が発生、材料販売や防水・止水工事の需要が減少し、減収	↓
特殊化学品	・医薬向け中間体の需要減少等により、減収	↓



過酸化水素及び誘導品(※)

・過酸化水素誘導品は、衣料用漂白剤や家庭用洗浄剤向けの需要が増加し、増収となったが、過酸化水素は、新型コロナウイルスの影響を受け、紙パルプ向けの需要が減少し、減収

※過炭酸ナトリウム、過酢酸等



アグロサイエンス

- ・殺虫剤は、顧客の在庫調整により販売量が減少したが、一方で、ゴルフ場向け除草剤の需要が好調に推移し、また、家庭園芸向け除草剤は、新型コロナウイルスの影響による巣籠り需要により増加し、増収

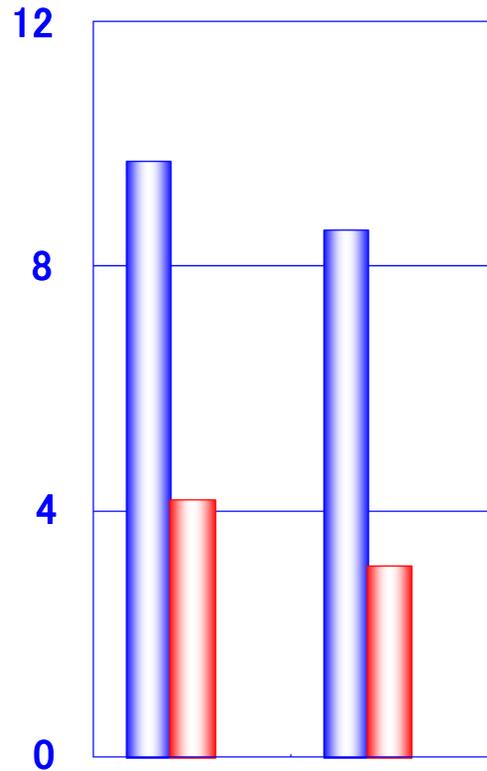
2019年度 2Q累計 2020年度 2Q累計

売上高
（億円）

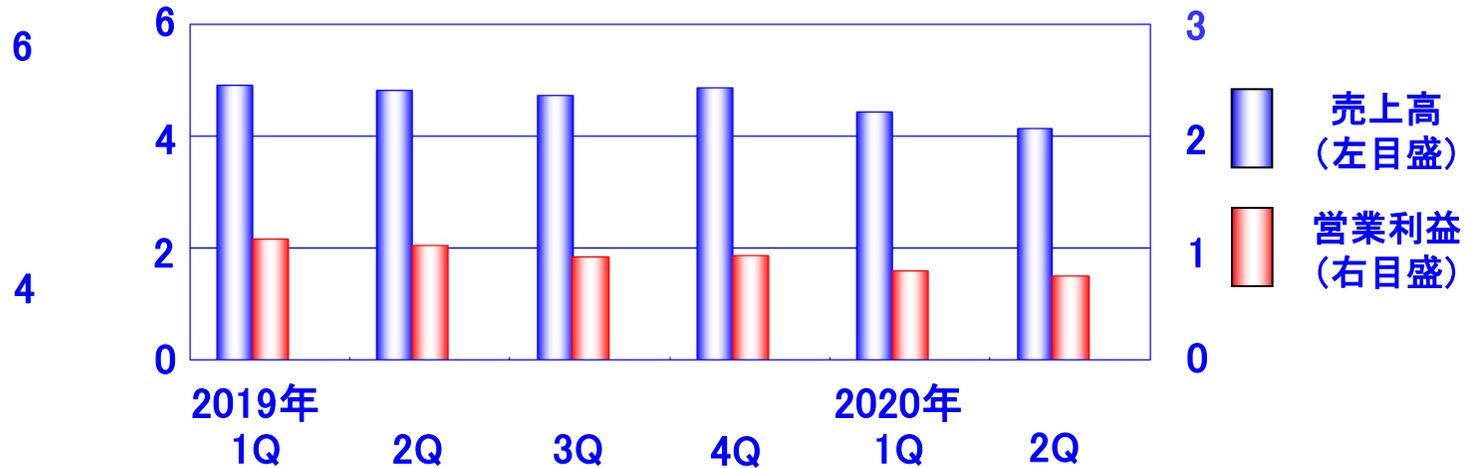
営業利益
（億円）

売上高
（億円）

営業利益
（億円）



2019年度 2Q累計 2020年度 2Q累計



物流関連 ・新型コロナウイルスや米中貿易摩擦の影響を受け、
輸出の取り扱い量が減少し、減収

- ・2020年7月31日開示の2021年3月期第1四半期決算短信におきまして、新型コロナウイルスの影響により合理的に見積もることが困難であることから、2021年3月期通期の連結業績予想については開示せず、当第2四半期累計の連結業績予想のみ開示いたしました。
- ・未だ、当社グループを取り巻く環境は不確定・不透明な状況ではありますが、当第2四半期累計の実績を踏まえ、第3四半期以降の当社を取り巻く状況等を可能な限り見積もり、現時点において入手可能な情報をもとに検討と検証を実施いたしました。通期の連結業績予想につきましては、下記の通りです。

(単位:百万円)

